

所長からご挨拶

年頭にあたり、皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたします。

昨年は、新型コロナで明け、暮れた年となりましたが、皆様方のご支援、ご協力により最小限の影響に留まりました。改めて感謝申し上げます。

障がい者福祉では、いかなる場合にもご利用者・ご家族のサービス提供が滞ったり、止まってはならないと強調されました。感染症の対策や災害（地震・火事、台風等の風水害）時の対策を含む「事業継続計画」を策定するよう要請されています。ご利用者が作業所に通所されている時、在宅時、外出されている時に、作業所としてできること、しなければならないことを明確にし、対策を立てる事が必要とのことです。家族会や行政諸機関、他事業所との連携も含めた計画となりますのでご協力のほどお願い申し上げます。

また、地域貢献「地域住民のために、開かれた作業所から役立つ作業所」へ前進することも求められています。施設のご利用者・ご家族だけではなく、地域住民の困っておられる方のために施設事業所の強みを生かしたものです。

少しでも、ご利用者・ご家族・地域の皆様のために役立つものになればと思います。現在法人では、オール大阪の生活困窮者支援事業、作業所は熊取町社会福祉施設等地域貢献委員会に参加しています。

ささゆり作業所としましても、創立30周年を超え、その土台に立った、安全安心の課題、ご利用者にご家族の高齢化に伴う課題等、課題が山積しています。ひとつ一つ着実に邁進したいと思っていますので、今年度も皆様方のより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ささゆり作業所施設長 影山 英夫

家族会 会長よりご挨拶

家族会の皆様、あけましておめでとうございます。

昨年の年間行事は、新型コロナウイルス感染拡大が終息しない中、利用者の皆様の安全を最優先に鑑みた一年となりましたが、皆様のご理解とご協力のお陰により、新年を迎える事が出来ましたこと厚く御礼申し上げます。

この状況が当面続くと思われませんが、皆様との繋がりこそがささゆり家族会の活性化に不可欠と考えております。

今年も年間行事が、延期や中止となると思われませんが、家族会といたしましては共助してまいりたく存じます。何卒ご理解、ご協力、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ささゆり作業所の皆様のご健勝を申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

家族会会長 金谷 雅弘

焼き芋イベント



12月22日に焼き芋イベントを実施しました。甘い蜜がたっぷりと詰まった安納芋を低温でじっくりと焼き上げることで、更に甘みを引き出し、握ると潰れる程の柔らかさに仕上がりました。

皆様ご満悦の様子で、食後の提供でしたがペロリと完食されていました。

ホクホクのお芋の様子は、ホームページにて動画を掲載しているので、是非ご覧ください。

支援課 川村 智子

クリスマスイベント

12月24日クリスマス会を行いました。

クリスマス会では音楽クラブの発表があり、あわてんぼうのサンタクロース等を演奏しました。

昼食には特別なメニューとケーキを召し上がられています。その後、紙コップをピラミッド型に並べ、ボールを投げて倒す的当てゲームを行いました。

最後にお菓子やプレゼントをサンタさんからプレゼントされ、喜ばれていました。

コロナ禍の中久々のイベントだったので一日楽しまれたのではないのでしょうか。

支援課 湊 武琉



初詣・互礼会

1月4日火曜日、2022年最初のイベントとして、互礼会が開催されました。密を避けるために、小グループ毎に分かれての実施です。午前中は今年の目標や休暇中の思い出を発表し、水呑地藏尊へ参拝しました。

午後は少人数ずつ食堂に集まり、「今年の夢、みんなの希望」というテーマで書初めをしました。カードは大きな紙に貼りつけて、本館1階に掲示しています。

支援課 安藤 信二

